

教員・教育委員会職員等対象 311被災地視察研修について

- 1 開催日 2025年・令和7年2月21日（金）～24日（月・祝日）3泊4日
- 2 主 催 国立大学法人宮城教育大学「311いのちを守る教育研修機構」
- 3 対 象 南海トラフ巨大地震など災害に備え、防災教育と学校防災に取り組む地域の教員、教育委員会職員、関係部局職員等
- 4 定 員 最大30人程度
- 5 観察地 石巻市大川小学校震災遺構・門脇小学校震災遺構、南三陸町戸倉小学校跡地、仙台市荒浜小学校震災遺構、気仙沼市立向洋高校震災遺構、陸前高田市伝承館、釜石市鵜住居地区等
※詳細は別紙日程表を参照
- 6 参加費 現地参加費：1人当たり42,000円
<仙台までの交通費は各自負担>
JR仙台駅集合、仙台駅・仙台空港解散
※参加費は宿泊料
(1、2泊目は2～3人部屋、3泊目は1人部屋です)
※その他、バス代・講師謝礼・施設見学料等は主催者負担
- 7 その他 詳細は別途、参加者に案内
- 8 申し込み 別紙の申し込み方法を参照
締め切りは2025年・令和7年1月16日(木)
(地域、校種、年齢等のバランスを考慮して選考します、応募状況により早めに締め切る場合があります)

★直近、2024年8月研修の実施概要、参加者の声、およびそれ以前の研修報告は、以下の機関HPを参照ください。

[311被災地視察研修、通算9回目を実施しました／18都道府県34人と高知新聞同行記者1名が参加、東日本大震災の学校被災現場の知見と教訓を共有しました | 国立大学法人宮城教育大学 防災教育研修機構 311いのちを守る教育研修機構](#)

https://bousai-miyagi.sub.jp/bousai-kyoiku/teachers_training_history/